

## 向日市地域活性化会議 第4回商業部会 会議要旨

日 時	平成 21 年 6 月 22 日(月) 19:00~20:30
場 所	向日市役所 3 階大会議室
内 容	1 開会 2 議事 (1) これまでの論点整理 (2) 商業活性化の方策について 3 その他
出席者	高嶋座長、吉田オブザーバー、小森委員、戸村委員、永井(誠)委員、石井委員、布施委員、佐野委員、能勢委員、森久委員、和田委員

### 1 開会

### 2 議事

- (1) これまでの論点整理
- (2) 商業活性化の方策について

- 資料説明 -

[ 現状、課題、将来方向 ]

委 員

- ・できる、できないの問題はある。これは無理、不要というものは外して、これは行けそうだというものから議論していった方が良いのではないか。

委 員(司 会)

- ・まずどのような前提で議論するかの確認は必要。

委 員

- ・京都市内の町家倶楽部では、貸主と借主の仲介をしているが、古い建物でも手を入れて住み続けたいという人は少なくないようだ。旧西国街道の西山高校から神崎屋さんに至るところの町屋が3軒取り壊されたが、それを止める、あるいは古いものを活かす方法を考えるべき。
- ・レキジョ(歴史好きの女性)ブームに便乗し、戦国武将の家紋をつけた商品を販売している店がある。桓武天皇のキャラクターなどを考えてはどうか。
- ・市内在住の能楽師がおられ、第4向陽小学校にも教えに行っているようだが、薪能(たきぎのう)を行うのに、京都市から人を呼ばなくても、イベント時にはそういう人を活用したい。

委 員(司 会)

- ・今ある人、市民人材を活用するという考え方はある。

委 員

- ・「商業活性化のシンボル」はセールスポイントやキャラクターと考えると、石川県輪島では、街灯

にキリコ（切子燈籠）を使い、商店街各店の屋号を記しており、地域の特徴となっていた。街灯が広告塔になるような工夫をしてはどうか。

[ 検討の視点 ]

委員

- ・府道の拡幅に向け、庁内でもプロジェクトチームを立ち上げている。まちの特色のPRとしては歴史街道の取組があるが、まずは時間がかかってもバリアフリーに特化した整備をしたい。
- ・向日神社周辺は、東向日・西向日の両方からのルートを考えなければ、買物客の増加につながらない。歴史・文化財を活用して双方向の人の流れの検討を。

委員

- ・どの施策にどのように取り組めるか。我々がどうすれば実現するのかわからない。
- ・例えば商業ベンチャーについて、向日神社前のシャッター商店についてコンペを実施し、行政が家賃補助をすとか、店舗付住宅で両者を分離する工事費を助成するといったことを検討する必要がある。こうしたことは、行政がプロジェクトと位置づけ、仲介をしてくれれば成り立つ可能性がある。
- ・大通りに面したところは、地元の人が土地を持ったり、店をやっている。こうした店を開けてもらうような方法（空き店舗にならない方法）を考えないと、活性化しない。また、こうした取組を通じて我々と地元の人との接点生まれ、将来的には高齢者の安心にもつながる。

委員

- ・限られた財源の中で、取組が必要なところには予算措置を考える。しかし現在は、連携すべき地元の主体が見えていない。

委員

- ・西向日から向日神社でなく、西向日～向日神社～東向日～JR向日町のつながりを考えるべきだろう。向日神社だけを中心に考えると、年間を通じたイベントはつukれない。
- ・市内にこんな店がある、という発見をしてもらうためのマップ・案内と、上記のつながりを中心としたエリア・ラインでの空き地を活用する、という流れにならないか。このラインを提灯やシンボルマークのようなもので統一していけば、人も歩き、商売人の意識啓発にもなる。

委員（司会）

- ・情報発信のひとつの方法になる。

委員

- ・まず店舗を知ってもらうためのガイド、ルートづくり、イベントなどの努力が必要。行政としては、道路整備、シンボリックな街路灯の整備などが役割であり、イベントは地元主体に考えることになる。

委員（司会）

- ・ルートづくりには賛成だが、誘導するための仕掛けがなければ、神社で折り返してしまう。

委員

- ・競輪場の活用が重要。我々地元から競輪場の活用方法について積極的に提案し、シマノや村田製作所

に呼びかけ、サイクルスポーツのメッカにするといった取組が必要ではないか。

- ・道路も、大きな道路を新たにつくるのではなく、例えば電柱をなくせば移動は随分しやすくなる。
- ・ウェブモールでは、「ぐるなび」などが効果的。こうしたIT利用への支援は必要だろう。
- ・競輪場活用、道路整備、IT活用支援がポイント。

委員

- ・競輪場の議論は進んでいるのか。

委員

- ・検討会が2度、開催されている。地元の意見も聴きたいということになっているようだ。

委員

- ・一般の人で、店があっても入らないのはなぜなのか。

委員

- ・きっかけが必要。

委員

- ・店側は入りやすい環境をつくるべきで、やる気のない人に「やりましょう！」と一件ずつに声をかけていくようなアプローチが必要。その上でお客が呼べるのは中身も充実した店である。
- ・お客を誘導する方法だけでなく、店側が「こういう提案なら乗っていける」というものをつくるのがポイントになる。

委員

- ・東向日周辺の飲食店は元気になってきたように感じる。一方、中央商店街は元気がなくなっている。
- ・一部の飲食店等で「激辛商店街」という取組を考えている。

委員

- ・ハバナロなどを使った料理など、激辛の商品やメニューを扱う店が連携して情報発信し、集客する取組を始めようとしている。

委員

- ・売れるものを揃え、入りやすい、買いやすい店をつくるのが基本。

委員

- ・イベント重視型では失敗する。特産品をPRする方向にした方が長く続く。また、「他でやっているから」という方法も上手くはいかない。
- ・当事務所では家具の扱いを始めたが、もっと地元や京都市の人に知ってもらいたい。しかしこれまで地元の商店と接点がなかった。今回、こういう場に参加することで、知り合うきっかけになった。
- ・まず勝手な取組だが、フリーペーパーを作成し、向日市、京都市内の知り合いの店舗に置いてもらおうと考えている。当初は当事務所とかかわりのある店舗の紹介だが、掲載を希望する会社も募集したい。年に4~5回程度発行し、活動や取組の周知を図っていきたい。このように個人でもフリーペーパーはつくることができる。しかし継続的な発行には商店同士が組まないと厳しい。少しずつでも協力してくれる店舗が増えれば。

委員

- ・取組を形にしていこうとすれば、協力してもらわないとどうしようもない。

委員

- ・空き店舗を埋め、店舗の情報を発信し、新しい店舗を誘致し、駅周辺の商業集積（道路整備、イベント展開）を図る。競輪場は長期的な取組に。
- ・消費者としてどのように参加すればよいのかわからない。競輪場グループ、情報発信グループ、店舗誘致グループと、プロジェクトチームで具体的に詰めていく必要があるのでは。

委員（司会）

- ・現在は、事業をしようとしても市民側の受け皿がない。例えばプロジェクトチームの連絡・調整役をだれがするのか。既存の団体を母体として、まちづくり協議会やまちづくり会社を創ることも考えられるが、向日市に合ったものにしていく必要がある。

委員

- ・今はまだ誰が何をするのが伝わってこない。もう新しいアイデアも出ないので、誰と誰が集まってどう進めるか、具体的に考えないといけない。

委員

- ・寺戸公民館に「市民協働センター（かけはし）」を設置し、20団体ほどが登録している。活用してほしい。
- ・競輪場は廃止が決まれば意見も出せるが、まだはっきりしない。

委員

- ・京都府に要望はできないのか。

委員

- ・今年度中には問い合わせがあると思う。

委員

- ・もっと地元から声を出し、国会議員・府議員も動かすべき。おとなしくしているから、結論を引き延ばされる。

委員

- ・市民にも情報が入ってこない。

委員

- ・現在は年に1回、競輪場対策協議会の会合があり、そこで京都府に意見はぶつけている。

委員

- ・1~2年後に競輪場が動くなら、放っておくことはない。北部より競輪場の方が大きな問題だ。

委員

- ・恐らく、廃止に向かう公算が大きい。向日市から積極的に跡地活用を提案すればよい。地元が大きな声をあげれば、動くのではないか。
- ・北部には、洛南小やオムロンが来てくれることは歓迎する。あくまで向日市の中心は東向日駅周辺と

考える。

委員

- ・行政としても、北部だけが活性化すればよいとは考えていない。北部に来た人をどのように中心地に引っ張れるかを考えたい。

委員

- ・市外の間人が向日市に来るとすれば、歴史的な財産を活かした、向日市にあって他にないものがあるかどうか。その意味では、息の長いまちづくりが必要ではないか。

委員(司会)

- ・キリンビール京都工場跡地に何らかの商業集積ができる以上、商業者がやる気を出し、一店一品の名物づくりをするくらいの意気込みを持って、まちぐるみで発信していくことが必要。
- ・西国街道を活用する仕掛けについては、景観に関する条例などとも関わってくる。いずれは町並みをどのように資源化していくか、という議論も必要だろう。
- ・本日の提案を踏まえ、一体感を創出する街灯等の工夫、情報発信、他産業との連携、IT促進などを盛り込んでいけば良いか。

委員

- ・狙いとして、市民にアピールするのか、それとも市外にもPRするのか。個人的には市民にどれだけアピールできるかを考えたい。一時的な来訪者はリピート客にならない。

委員(司会)

- ・観光も、リピートが狙える質の良い、奥行きのあるものにすべき。
- ・共通するのは、もっと住みやすくなり、もっと楽しくしたいということ。そうなれば市外に対する情報発信も自信を持ってでき、市外からの集客にも応えられるようになる。

委員

- ・今すぐにする事、中長期的にする事を分けて考えたい。
- ・提言に終わってはいけない。

委員(司会)

- ・工業部会でも段階的な取組への振り分けは要望があった。その方向を念頭に整理したい。

委員

- ・北部に商業施設ができることで、中心が落ち込むのではなく、上手くお互いに人を呼び込めれば、活性化につながる。
- ・駅があり、人口が密集し、歴史資源があると言うと、市外からは羨まれる。もっと向日市の人間が向日市のことを語らないといけない。そのために皆で何かしたい。

委員

- ・商売人に持って行って面白いと思われる提案を持っていくしか、協力を得る方法はない。

委員(司会)

- ・意識を高めるためにも、小さくても成功例をつくっていく必要がある。

#### 委員

- ・我々にも「昔、都があった」という歴史認識があまりない。しかし、市内のどこかを掘り返すと歴史遺産が現れ、東京からわざわざ学者が見にくる。その歴史を住んでいる人間がちゃんと認識し、もっとアピールしていく必要がある。
- ・モニュメントとして、だれでも取水できる「1200年の都水」のような井戸をつくっても良い。

#### 委員

- ・平安京と長岡京の類似性がわかるような長岡京の絵地図が一枚あると良い。

#### 委員

- ・わかりやすい観光看板がほしい。ライフシティ裏にあるが、寂れている。また、わざわざ見に行かないといけない竹の径より、駅前に竹垣を持ってきた方が良い。

#### 委員

- ・長岡京時代だけでなく、平安京においても西国街道は重要な役割を担い、その街道が今もそのまま街道として残っているだけでも貴重なこと。

#### 委員(司会)

- ・歴史的資源をソフト・ハードの両面から見直すことも盛り込みたい。

#### 委員

- ・小学4年生の副読本に「私たちの乙訓」があり、子どもの頃からそうした歴史文化の意識を育てている。

#### 事務局(産業振興課)

- ・改訂商業ビジョンには具体的なプロジェクトを盛り込んでいきたいので、今後ともご協力をお願いしたい。

### 3 その他

- 次回、全体会(8月予定)については、改めて日程調整 -

## 商業部会の意見整理

### 商業振興の現状、課題、将来方向

市民消費の市外への流出

キンピール京都工場跡地への商業集積の計画

東向日駅周辺には最寄品を扱う店がなく、活性化できるか

J R 向日町駅周辺に店舗やくつろぎ・憩いの空間がない

ポイントカード事業やイベント事業は余り成果があがっていない

参加店の減少、カードの普及（広がり）の限定

商工会会員の減少（廃業の進展）

新規出店・開業者は商工会に加盟しない？（具体的なメリットが必要）

商工農の連携

「阪急東向日駅～J R 向日町駅」間は歩道整備、飲食店等の立地が進展

整備が進めば歩行者の増加も期待（市民＋日常的な通勤者の取り込みも）

キンピール京都工場跡地商業施設との連携・役割分担で共存し、相乗効果を発揮することが必要

東向日駅周辺の既存中心商業地域の活性化（キンピール京都工場跡地商業施設の影響も考慮）

商業活性化のシンボルが必要

### 検討の視点

行政がすべきこと、商業者がすべきことの両方の議論が必要

キンピール京都工場跡地との連携・役割分担による共存共栄

「阪急東向日駅～J R 向日町駅周辺」の既存中心市街地の活性化

「阪急西向日駅～向日神社周辺」の活性化

### 具体的事業提案

#### 【エリア別のプロジェクト】

キンピール京都工場跡地との連携・役割分担による共存共栄

< 、 への対応 >

・現在の中心商業地域にある既存核店舗や周辺店舗が連携し、集客する仕組みづくりを考慮

### 「阪急東向日駅～JR向日町駅」の既存中心市街地の活性化

< への対応 >

- ・小売・飲食店のガイドブックづくり（高齢者も行きやすいような情報発信。店舗の従業員、メニュー、値段等の具体的な情報。はじめは100件分くらいで）
- ・雑誌で掲載する店舗に共通ロゴを張り出して宣伝

< への対応 >

- ・駐車場設置促進策を検討（駐車場があれば本当にお客が増えるのかの論点も必要）

### 「阪急西向日駅～向日神社周辺」の活性化

< への対応 >

- ・ハイキング需要があるが、「西向日駅 市内回遊 長岡京」というルートで、土産物販売等に結びつかない（逆ルートで帰りは西向日駅など市内から乗車させる工夫が必要）
- ・向日神社 - 大極殿 - 須田家などのルート化と西国街道整備

## 【商業ベンチャー育成プロジェクト】

### 「阪急東向日駅～JR向日町駅周辺」の既存中心市街地の活性化

空き店舗の活用

- ・発生した空き店舗の行政または個人による確保  
（住宅化等が進み、空き店舗が発生しにくい構造）

コミュニティビジネスの育成

- ・コミュニティビジネスコンペの実施、優秀賞への金融支援の仕組みづくり

創業の支援

- ・京都における充実した開業・起業支援制度に関する情報提供
- ・制度があっても使う人がおらず、プレイヤーの育成が必要

IT用語等に通じる年代の近い人から創業者がアドバイスを受けられる仕組み

### 「阪急西向日駅～向日神社周辺」の活性化

空き店舗の活用

コミュニティビジネスの育成



## 【情報発信・PRのプロジェクト】 共通

### 商店・飲食店の情報発信

- ・商工会のウェブモールは店によって効果あり。商工会の看板が安心につながる
- ・店舗紹介フリーペーパーは、分野に関係なく、やる気ある人でスピードをもってやるべき
- ・ワクワク感のある情報、消費者の視点に立った具体的な情報を提供できるかどうか重要

### イベントの展開

- ・継続的なものより、瞬間的にインパクトのあるイベントの方が良い

## 【他産業との連携による産業複合化のプロジェクト】 共通

### 商業と観光の連携

- ・向日市の観光振興は提案型であることが必要
  - 例)「長岡京」「桓武天皇」「かぐや姫」「向日神社」の活用
  - 例)桜の時期に「桜の径」と「長岡宮史跡公園」「向日神社」のコラボでイベント
  - 例)市民のつながりを生む「夏祭り」(市民の協働で実施することが必要)
- ・商工会(会員)が観光振興の費用を負担する仕組み
  - 例)観光協会マスコット「かぐ歩ちゃん」使用料の徴収
- ・地元から積極的にプランを組んで観光関係者に提案・売り込み

### 商業と農業の連携

- ・農商業連携の意見募集の実施を
- ・地元農産物、自家製加工品を販売する「道の駅」の設置

### 地産地消の推進

- ・地元食材を扱う商店へのロゴマーク(シール、小旗)の提供

## 【関連する交通プロジェクト】

### 「阪急東向日駅～JR向日町駅周辺」の既存中心市街地の活性化

#### 巡回バスの運行(例:サティへの巡回バス)

- ・高齢者の集客が期待できるが、向日市のような面積の小さいまちでは効果が薄い
- ・バスの交通環境ができていない

## 地域活性化会議開催スケジュール

- 平成 20 年 10 月 20 日（月） 第 1 回会議【全体】
- ・ 委嘱状の交付
  - ・ 委員長、副委員長の選出
  - ・ スケジュールについて
  - ・ 意見交換等
- 12 月 8 日（月） 第 2 回会議【全体】
- ・ 向日市の状況について（まちづくり、産業等）
  - ・ 商工業の課題等について
  - ・ 地域活性化基本方針について
- 平成 21 年 2 月 24 日（火） 第 3 回会議【全体】
- ・ 部会（商業・工業）の構成について
  - ・ 今後のスケジュールについて
- 第 1 回商業・工業部会
- 4 月 20 日（月） 第 2 回商業・工業部会
- ・ 活性化施策について
- 5 月 31 日（日） 第 3 回商業・工業部会
- ・ 市内見学（商・工業地域と事業予定地域の現状把握）
- 6 月 22 日（月） 第 4 回商業・工業部会
- ・ 論点の整理
- 7 月～ 8 月 第 4 回会議【全体】
- ・ 部会における検討結果について
- 9 月 第 5 回会議【全体】
- ・ 「提言書」（案）の検討
- 10 月 第 6 回会議【全体】
- ・ 「提言書」（案）の確認
- 市長に「提言書」提出

- 1 1月 「改訂商業振興ビジョン（案）」作成  
「産業戦略プラン（案）」作成
- 1 2月 「改訂商業振興ビジョン（案）」「産業戦略プラン（案）」  
パブリックコメント（市民意見の聴取）実施
- 2月 「改訂商業振興ビジョン」作成  
「産業戦略プラン」作成